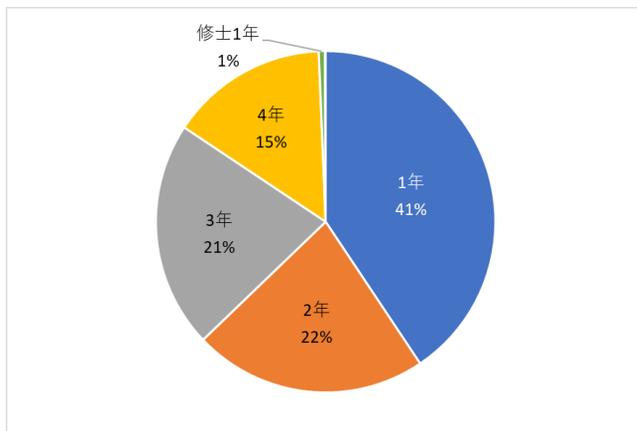
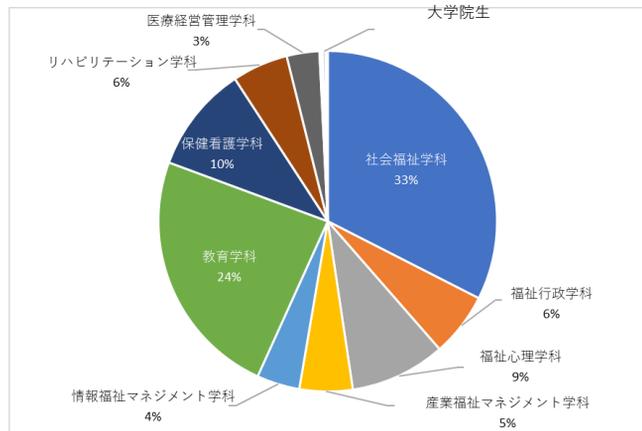


# 新型コロナウイルス感染症の影響下における意識・行動の変化に関する調査（全学概要）

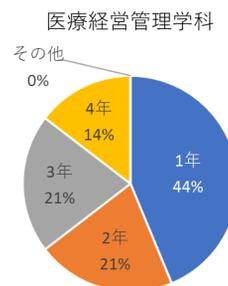
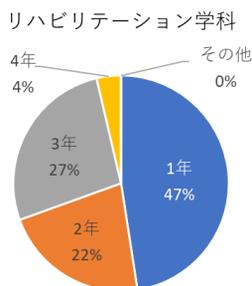
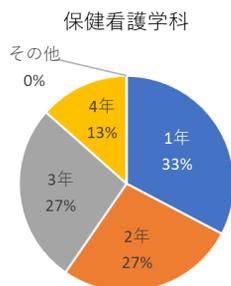
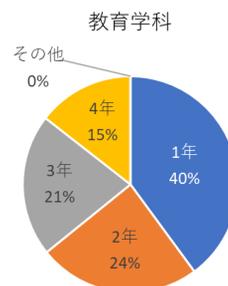
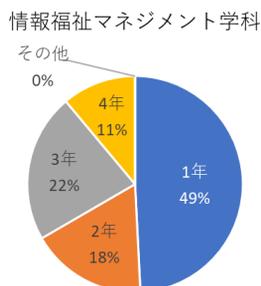
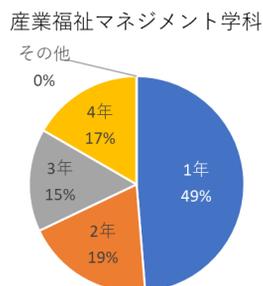
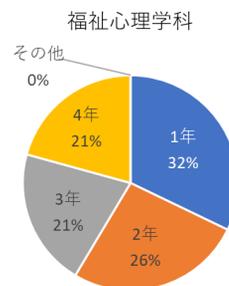
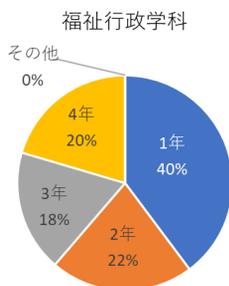
IRセンター

対象： 全学生（大学院生を含む）  
 回答期間： 2021年1月15日（金）～2月12日（金）  
 有効回答数： 1537名（回答率 25.6%）



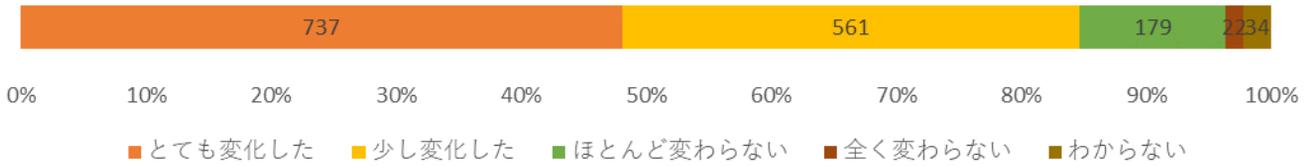
	社福	行政	心理	産マネ	情マネ	教育	看護	リハ	医療経営
学生数 [人]	1,806	450	537	463	470	1,099	342	342	329
回答者数 [人]	499	93	140	78	63	366	156	82	48
回答割合 [%]	27.6%	20.7%	26.1%	16.8%	13.4%	33.3%	45.6%	24.0%	14.6%

## 各学科における回答者の学年比率

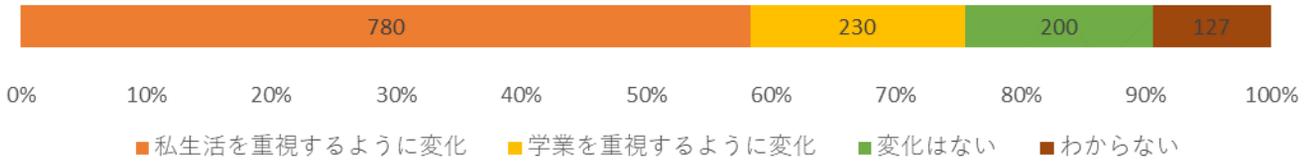


# I. 学習に関する意識の変化について

(1) 今回の新型コロナウイルス感染症拡大前に比べて、日常生活や学習への向き合い方などの意識に変化はありましたか。



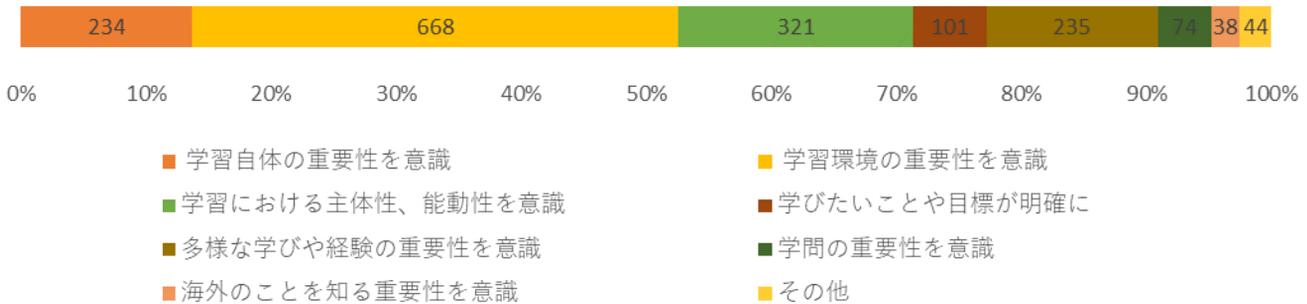
(2) 【(1)で「1. とても変化した」または「2. 少し変化した」を選んだ方への質問】今回の感染症拡大前に比べて、「学業と私生活のどちらを重視したいか」という意識に変化はありましたか。



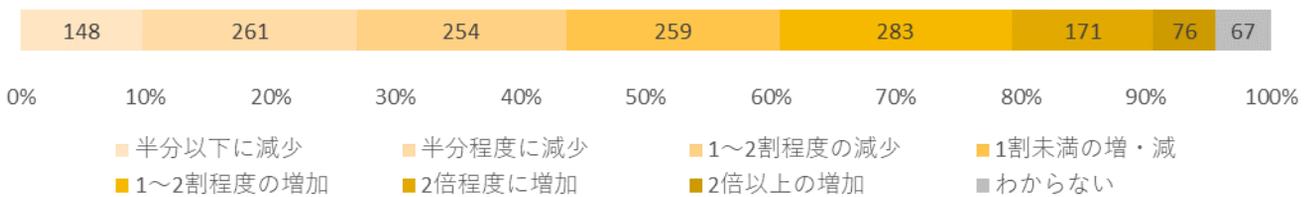
(3) 今回の新型コロナウイルス感染症拡大前（1年生は高校時代）に比べて、学習に関する意識に変化はありましたか。



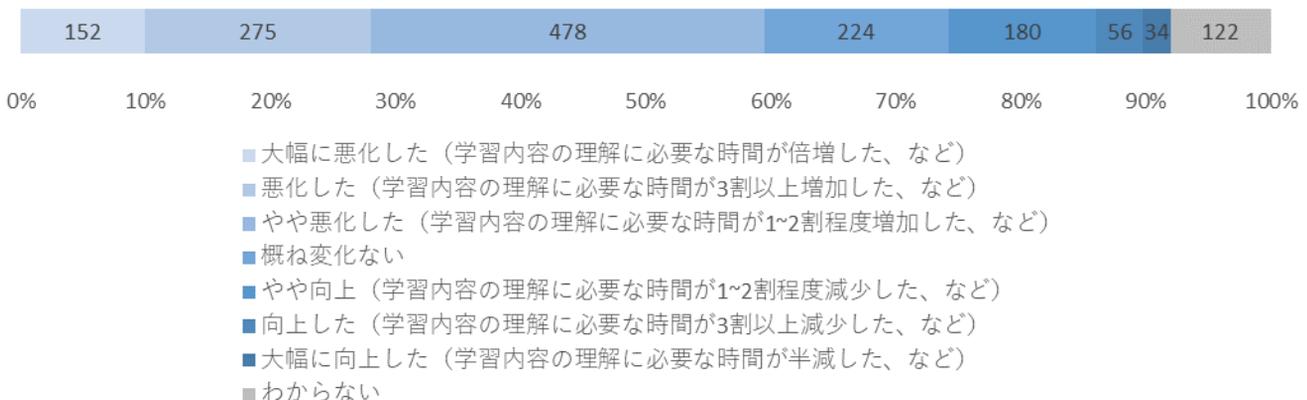
(4) 【(3)で「1. とても変化した」または「2. 少し変化した」を選んだ方への質問】前向きな変化として、どのようなものがありましたか。



(5) 今回の感染症拡大前（1年生は高校時代）に比べて、授業以外の学習時間（自習、研究等の合計時間）はどのように変化しましたか。

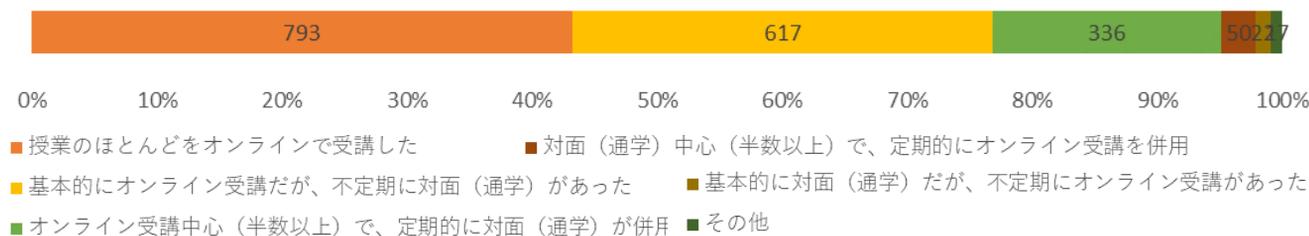


(6) 今回の感染症の影響下において、学習のしやすさはどのように変化したと感じましたか。

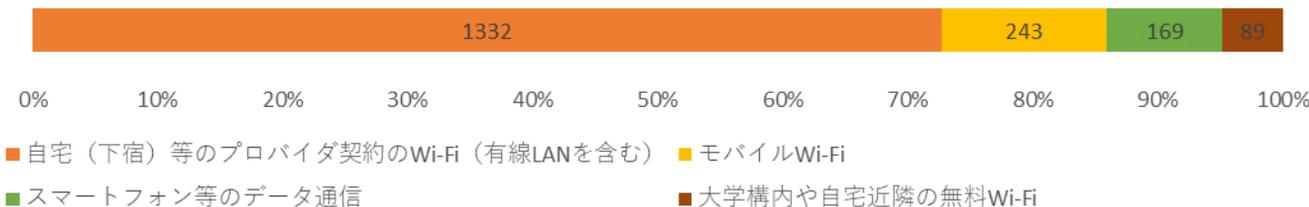


## II. 今年度のオンライン授業について

### (1) 前期・後期を通して、授業で経験した受講方法（複数回答可）



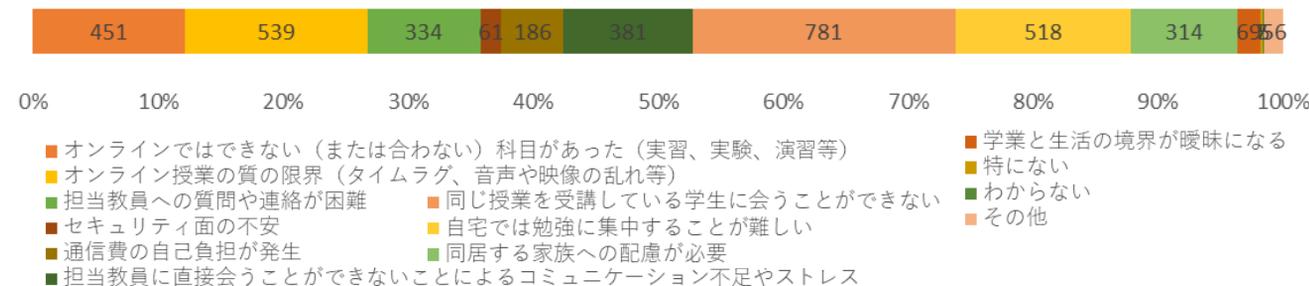
### (2) オンライン授業を受講する際の通信環境について（複数回答可）



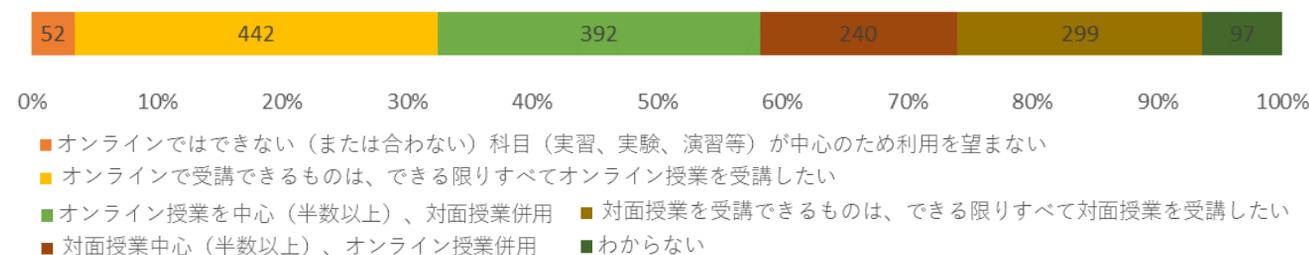
### (3) オンライン授業を受講する際の通信状態について



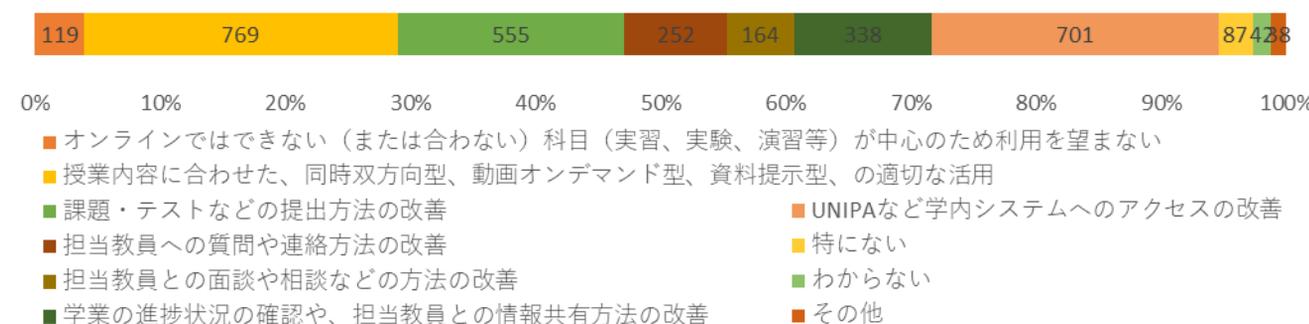
### (4) あなたの学業において、オンライン授業で不便な点と考えられること（複数回答可）



### (5) 今後、どのような頻度で大学のオンライン授業を受講してみたいと思いますか。

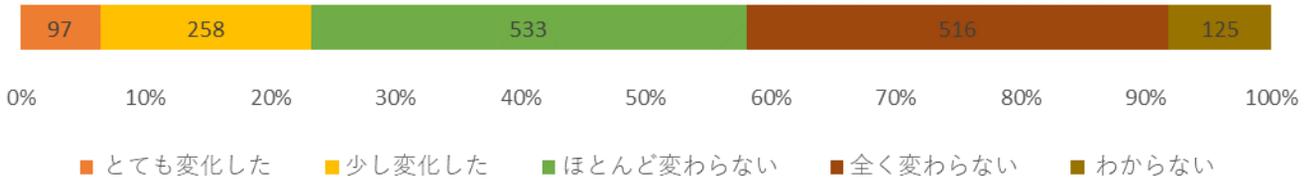


### (6) 今後、オンライン授業の利用が進むために必要と思うもの（複数回答可）

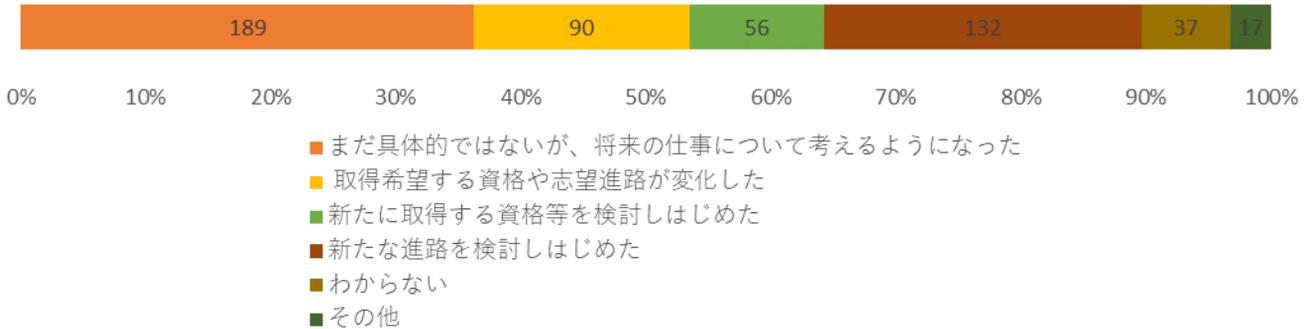


### Ⅲ. 卒後の進路選択やその希望に関する意識の変化について

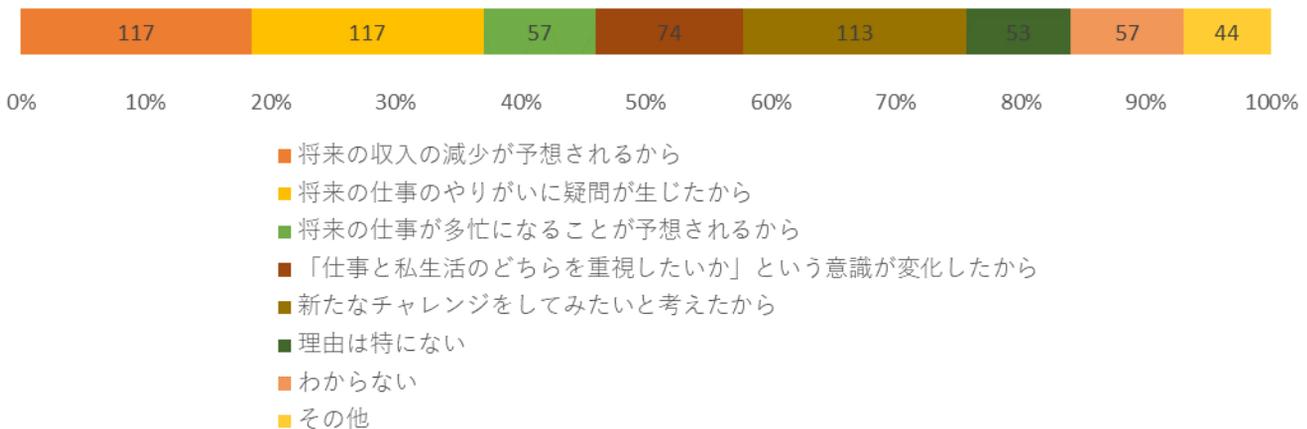
(1) 感染症拡大前から現在までの間に、卒後の進路選択やその希望は変化しましたか。



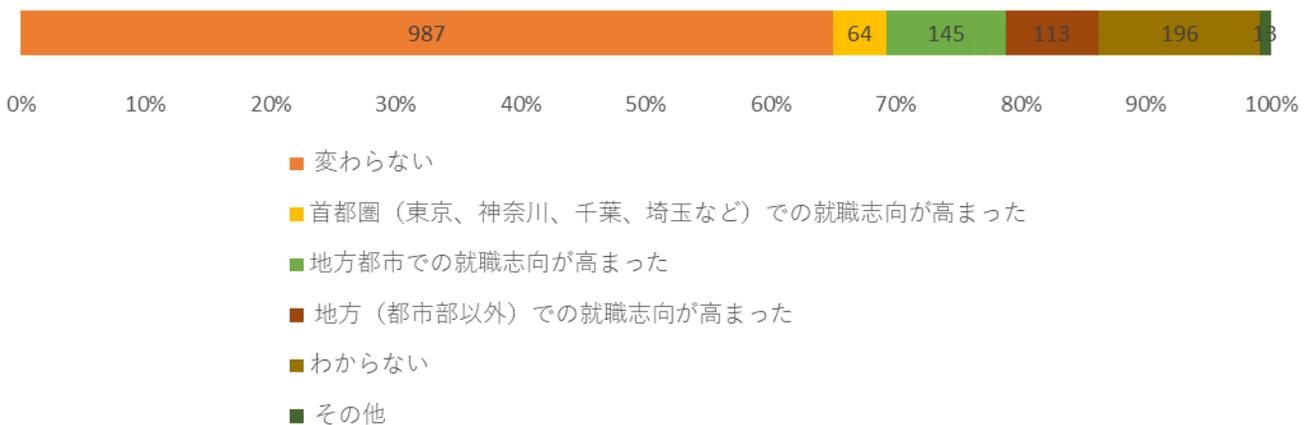
(2) 【(1)で「1. とても変化した」または「2. 少し変化した」を選んだ方への質問】卒後の進路やその希望がどのように変化したか（複数回答可）



(3) 卒後の進路選択やその希望が変化した理由（複数回答可）

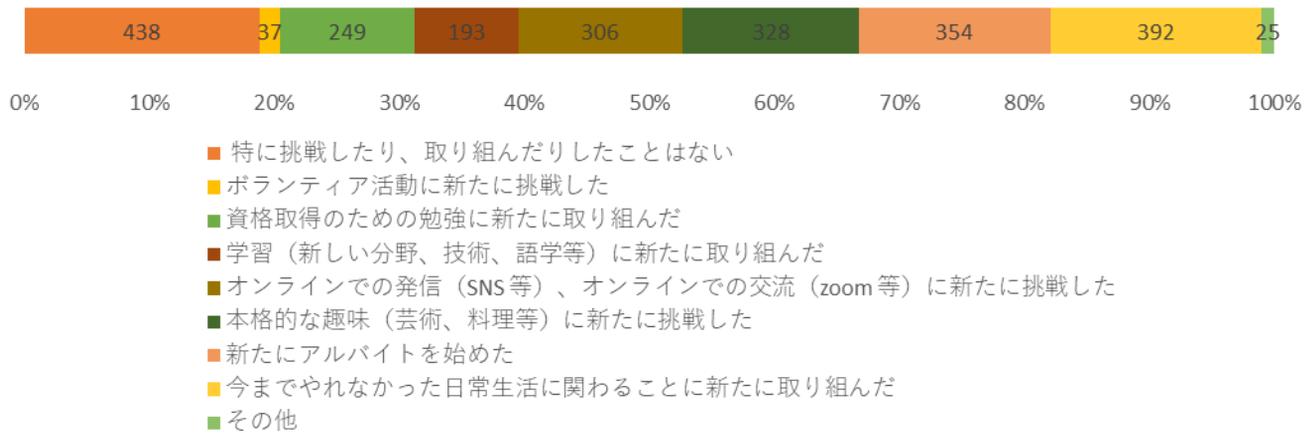


(4) 将来の勤務地に関してお聞きします。今回の感染症拡大前に比べて、選択・希望に変化はありましたか。



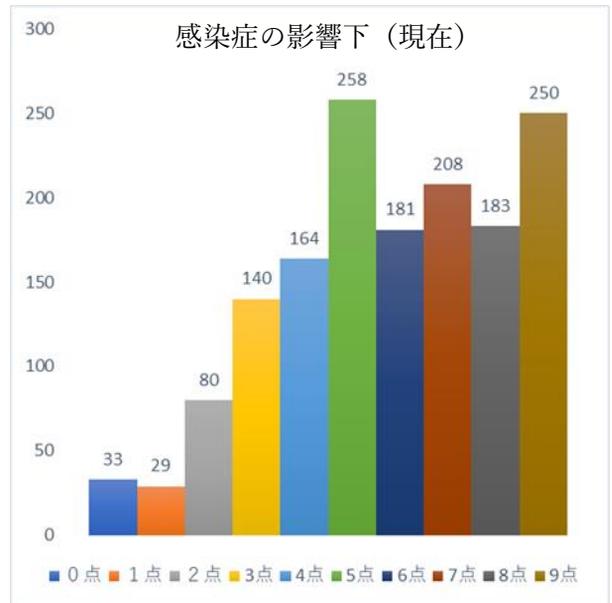
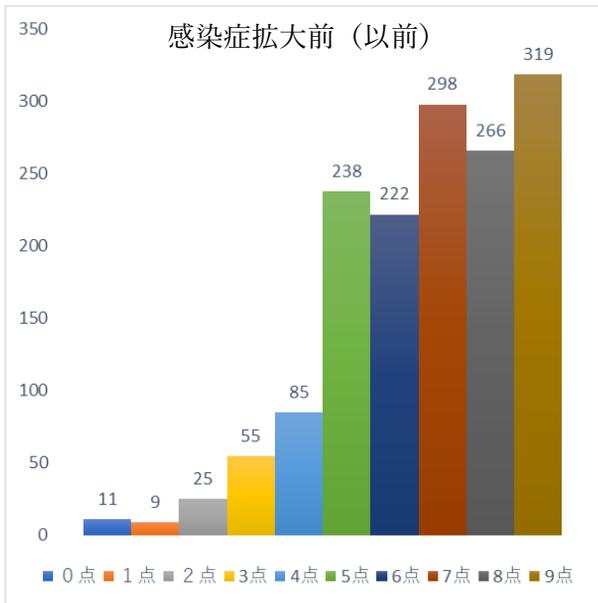
## IV. 学生生活全体について

(1) 今回の感染症の影響下において、新たに挑戦したり、取り組んだりしたことはありますか。

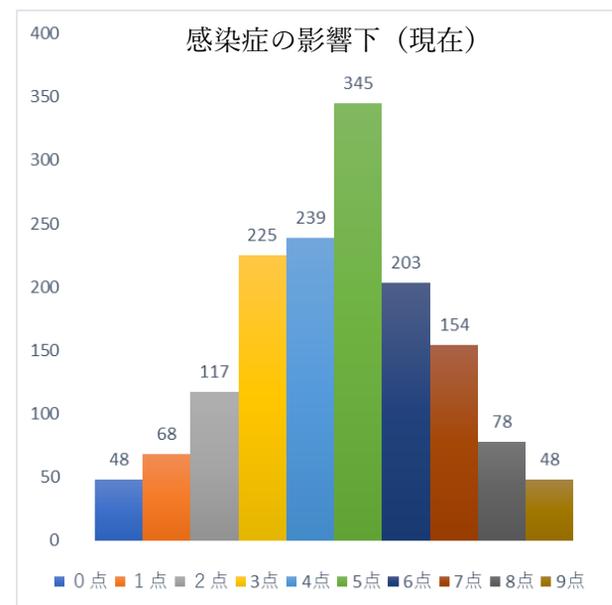
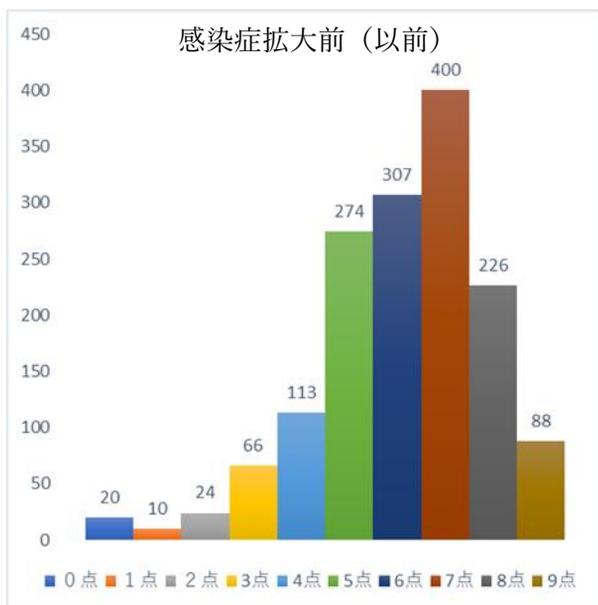


(2) 満足（不満足）の程度（全く満足していない（0点）～非常に満足している（9点）として10段階で評価）

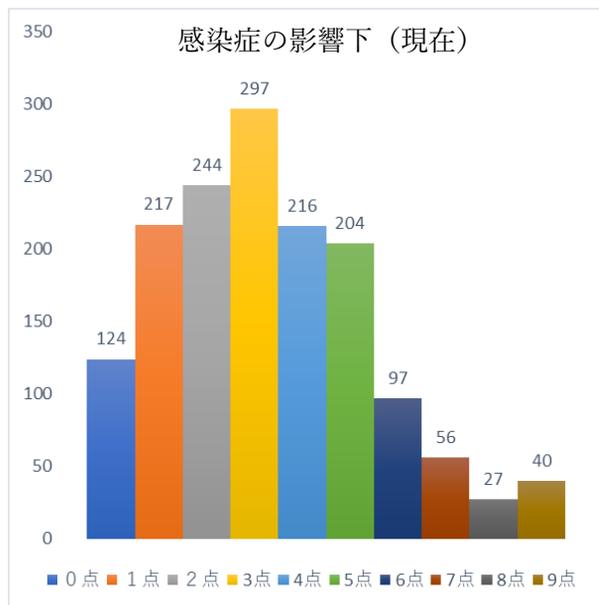
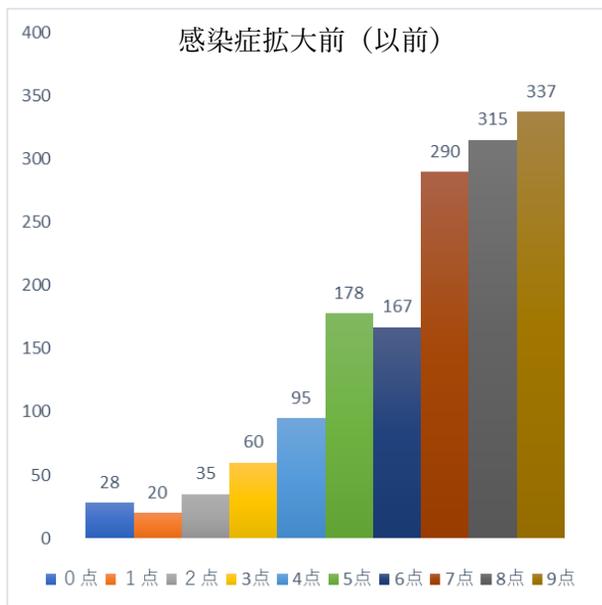
### ①「健康」に関する満足度



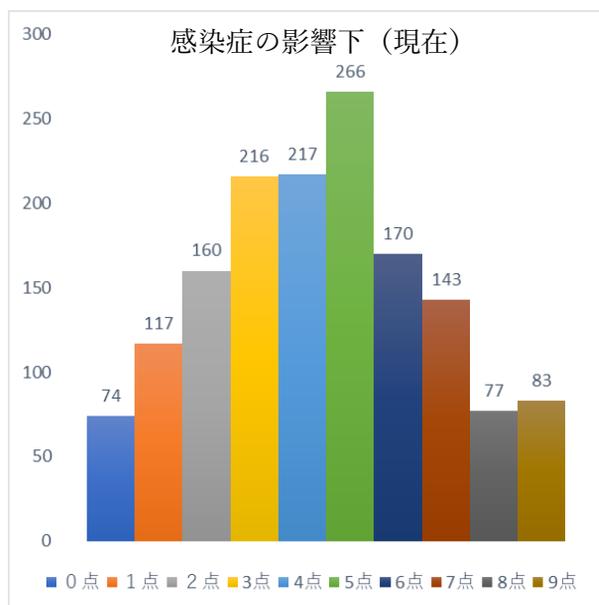
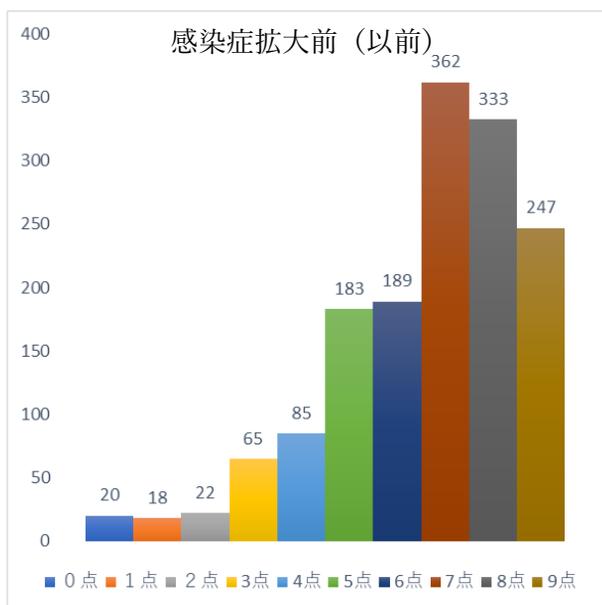
### ②「学修」に関する満足度



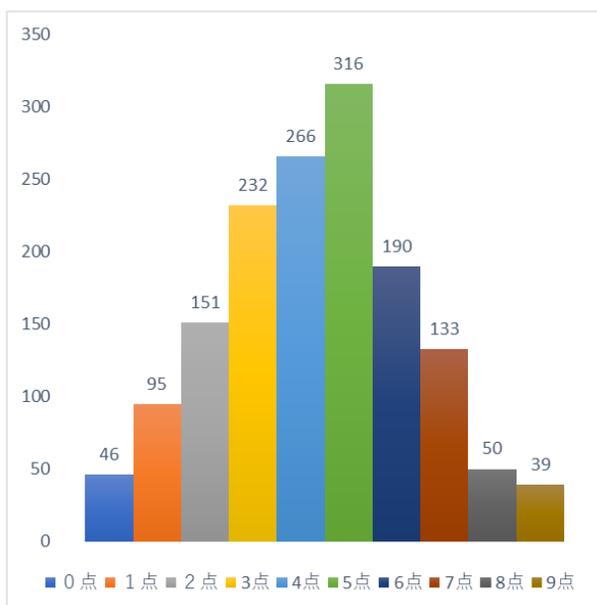
③「交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」に関する満足度



④「生活の楽しさ・面白さ」に関する満足度



⑤総合的にみた「現在の学生生活」の満足度

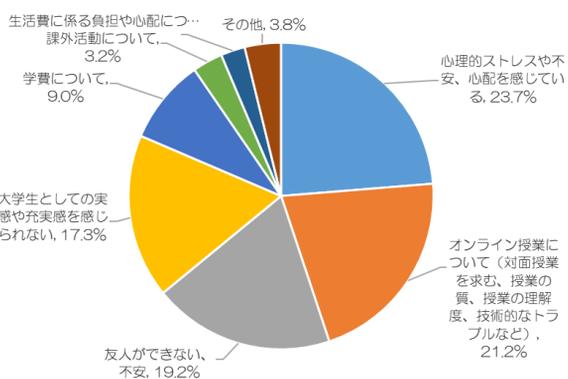
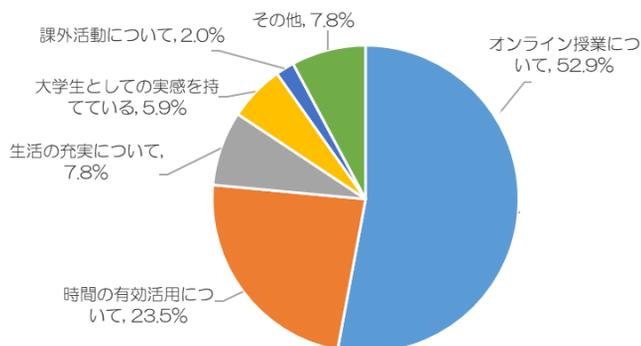


## ⑥現在の学生生活についての自由記載（学年別）

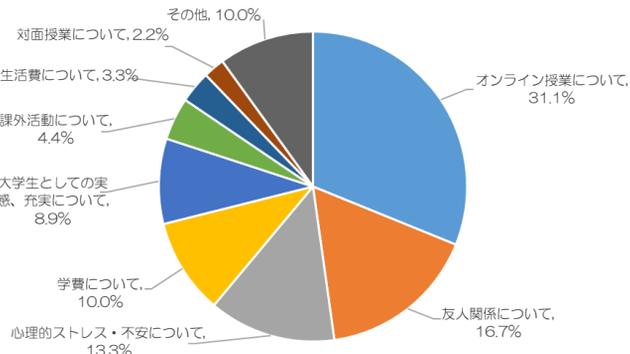
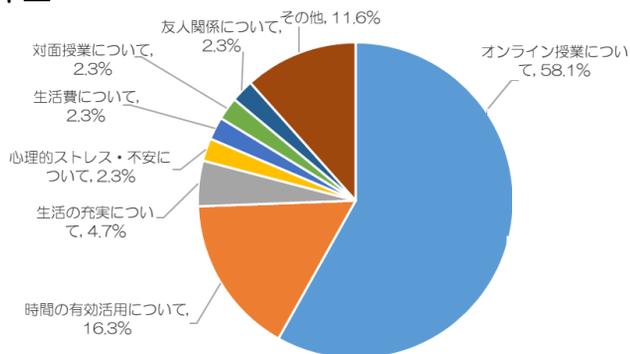
### 良かったこと

### 困ったこと

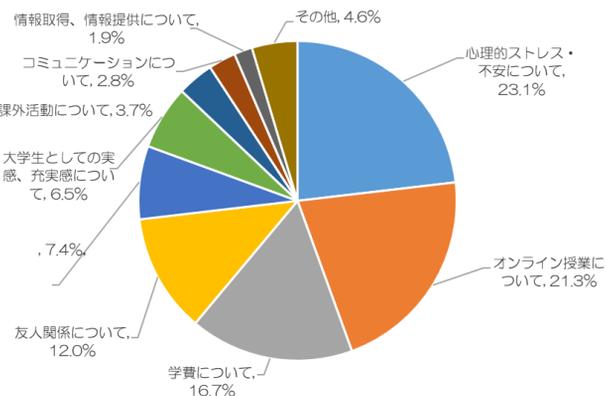
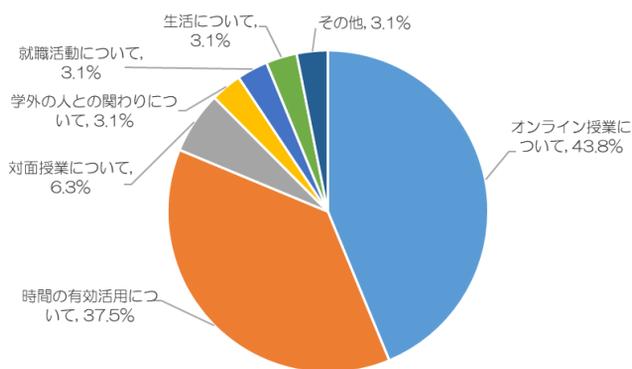
#### 1年生



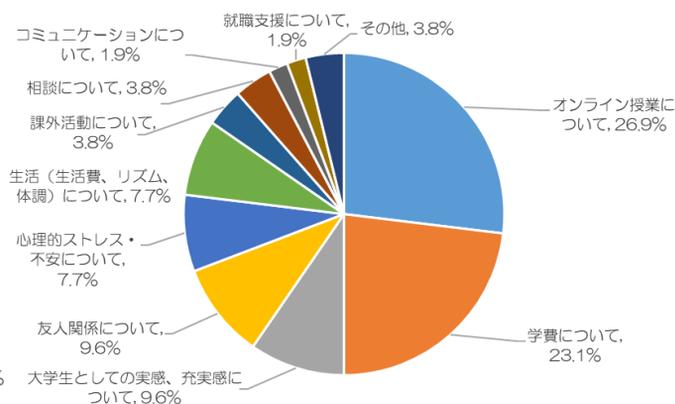
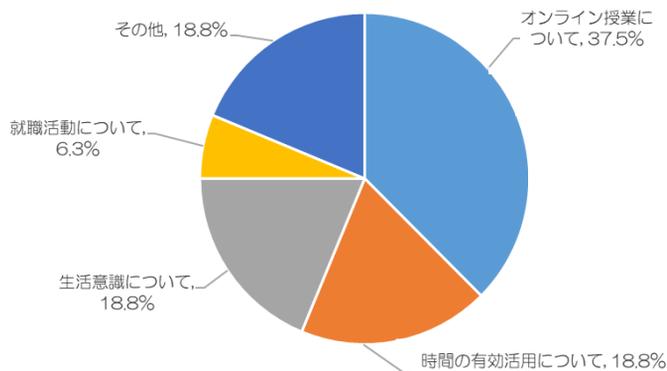
#### 2年生



#### 3年生



#### 4年生



## 結果のまとめ

今回の調査では、「卒後の進路選択やその希望」に関することを除いて、何らかの意識の変化があった学生が多いという結果となった。

学習に関しては、「あらためて学習そのものや学修環境の重要性、学修における主体性・能動性を意識した」旨の回答が約7割を占め、従来型の対面授業とオンライン授業との質的差異が浮き彫りになったと考えられる。オンライン授業については、「今後もオンライン授業を中心に受講したい」旨の回答は5割強にとどまり、今後の要望として「授業内容に合わせた配信方法の活用」「学内システムへのアクセスの改善」「宿題・試験などの方法の改善」があげられた（それぞれ全回答の20～25%程度）。また、学習時間について、従前（1週間あたり5時間以下）より短くなったとの回答が約6割を占めた。オンライン授業を行う場合は、適切な配信方法を選択することと同時に、学生の学習時間をいかに確保するかも課題の一つと考えられる。

満足度に関しては、学生生活の様々な面にわたり低下の傾向がみられたが、特に「交友関係やコミュニティなど社会とのつながり」に関する低下が顕著であった。自由記載では、いずれの学年でもオンライン授業に関するコメントが多くを占めた。その他のポジティブな記載としては「時間の有効活用」が次いで多く、オンライン授業の中でもオンデマンド方式の有効性が示唆された。一方、ネガティブな面としては、オンライン受講に関するストレスと共に、低学年ほど「友人関係の不安」が大きいことが伺われた。